

Ⅲ 社会「調べたことをみんなに伝えよう」（3組）

1 学習の概要

4年生の社会科では、火災などの災害から人々を守る仕組みや、消防署の働きを学びます。子どもが興味・関心をもってこの学習を進められるように、単元の始めにガイダンスを行いました。ガイダンスを通して、自分が興味をもったことを調べたり、消防署の見学をしたりしてわかったことを、みんなに発表する時間を設けました。この学習を通して、子どもが主体的に学習に取り組み、自信をもって発表できるようになることを願って取り組みました。

2 ねらい

- 火災から人々の安全を守る仕組みに関心をもって、調べたり発表したりすることができる。
- 自分で調べたいことをもって、消防署の見学を行うことができる。
- 火災から人々の安全を守る仕組みを正しく理解することができる。

3 取り組み

(1) ガイダンス

子どもたちは、火災が発生してから、消火活動が行われるまでの流れを写真やビデオを見ながら簡単に学びました。その後、自分なりに不思議に思ったことや、もっと調べてみたいことを「自分の課題」として決めました。それぞれの課題を交流し、自分がどんなことに興味をもったのか伝え合いました。



「火事が起きたらどうなるのかな」

(2) 自分の課題を調べる

次の時間から、自分の課題を調べていきました。自分の調べたいことを見つけやすいように、教科書・副読本「はんだ市」・図書室の資料・市立図書館から取り寄せた資料・タブレットを準備し、納得がいくまで追究できるようにしました。自分の調べたい内容が見つからずに四苦八苦する子どももいましたが、見つかったときには大きな喜びの声も上がっていました。



「タブレットで調べよう」

調べる時間には、めあてカードを書きました。始めにその時間のめあてを立てて、授業終了時にはふり返りをしました。文章にして記録をしておくことで、次の時間の始めにやるべきことをは

社会科「なぐさこわい」火事「めあてカード」		
調べるテーマ		
1月10日 消防署の1日		
日	今日のめあて	明日のめあて
1	本で	消防署の1日
2	調べ	消防署の1日
3	調べ	消防署の1日
4	調べ	消防署の1日
5	調べ	消防署の1日
6	調べ	消防署の1日

「めあてカード」



「やっぱり本は調べやすい」

きりさせておくことをねらいました。

(3) 調べた課題を発表し合う

自分の調べたことをノートにまとめた後、お互いに発表し合いました。数人のグループを作って一人ずつ順番に発表していきます。グループの全員が終わったら、また新しいグループを作り、同じように続けていきました。初めは緊張していて、うまく説明できない子どももいましたが、何度も発表をしていくうちに、自分の調べたことを上手に伝えていくことができるようになっていきました。

発表を聞いているときも、自分の調べていない内容を聞くことで、消防に関する内容を幅広く吸収することができました。「全員分の発表を聞いた」と嬉しそうに話す子どももいました。

発表を終えた感想からは、「もっと話したかった」「友達の発表を聞いてすごいと思った」「発表が初めは恥ずかしかったけど楽しくなった」といったものがありました。多くの子どもが、調べたことを伝え合う楽しさを感じることができていました。また、「調べる目的を自分で決めるのが楽しい」「詳しく調べられてすっきりした」といった感想もありました。自分で決めた課題を追究する楽しさを味わうことができたことが伝わってきます。

(4) 消防署見学

資料を通して調べる中で、どうしても分からないことや、直接聞いてみたいことが子どもの中から出てきていました。その気持ちをもったまま消防署への見学に行くことができました。見学に行く前にも、「自分が調べたいこと」「聞いてきたいこと」を考えさせ、見学が実り豊かなものになるようにしました。説明をしてくれた隊員の方の話を真剣に聞き、しおりのメモのページがなくなってしまうほど、書き残している子どももいました。



「みんなに発表しよう」



「消防車の説明を聞く」

4 成果と課題

単元の始めにガイダンスを行ったことで、子どもが自分なりの関心のポイントをもって単元をスタートすることができました。それは、資料を使って調べるやる気に繋がり、調べたことを発表する楽しさにも繋がりました。一生懸命に調べることで、分からなかったことやもっと詳しく知りたいことが生まれ、消防署見学へのやる気にも繋がったと思います。

今回の取り組みから、「楽しい」「不思議」「やってみたい」といった気持ちが、子どもを学習へ向かわせる大きな原動力になっていることを感じました。これからも、子どもが自分自身のめあてや課題をもつことができるような場面を設定し、自ら学習へ向かっていけるように支援していきたいと思います。